



冬を彩る鉢花「シクラメン」

シクラメンといえば、冬の鉢花として大人気の花。ここ下林の鈴木寿光さんのお宅は、シクラメンを主とする鉢花の栽培農家です。ガラスハウスの中には、赤・白・ピンクなど色とりどりのシクラメンが所せましと並べられていました。

さて、このシクラメン、12月が出荷の最盛期。この日は約400鉢が出荷されました。鈴木さんのお母さん、パートの方は出荷準備に余念がありません。出荷されたシクラメンはこれから春まで、各家庭に彩りを添えることでしょう。



シクラメンオークションも大人気（フラワーパーク）

◇町の人口(1月1日現在) 男15,345人 女15,652人 計30,997人(前月比+2) 世帯数7,905世帯(前月比+15)

平成9年 年頭のごあいさつ



八郷町長 関野和夫

力を傾注してゆく所存であります。時代は、二十二世紀まで残すところ三年となりました。新しい時代の流れの中に、わが八郷町が繁栄を続けていくための基盤を確立することも、この大切な時期に町政を預かる者の重大な責務であると痛感しております。

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい平成九年をご家庭族揃ってお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は八郷町にとって決して平稳な一年であったとは言い難いものがありました。町民の皆様の行政に対する不信心がつのるなかで、八月には八郷町再建をかけた前例のない出直し町長選挙が行われました。

私は、クリーン選挙をモットーに「町民本位の行政」による「町民が主人公のまちづくり」をめざして、町政の刷新に力を注ぐことをお約束し選挙戦を戦いました。その結果、皆様の絶大なるご支持を賜り当選の栄に浴することができました。ここに改めて深く感謝を申し上げるとともに、今後とも皆様のご期待に添うべく、新しい八郷町の建て直しに渾身の

道路整備では、広域的なアクセス道路である県道石岡・下館線上菖峰トンネル化が、関係市町村の協調体制の下、地元県議をはじめ多くの人々のお力添えなどにより現実のものとして動き出し、急速に進展してまいりました。さらに、朝日峠トンネル化も遠くない将来実現の可能性に明るい兆しが見えてきます。

ほかに県道バイパス化や広域的道路構想に合わせた町道整備計画などが現実のものとなるころには、この町にも激しい変化の波が押し寄せることが予想されますが、八郷町本来の姿を失うことなく発展を続けていくための方策を、今から立てておかなければなりません。

私は、八郷町がこれまで守ってきた自然環境や町並みが、乱開発や急激な都市化によって破壊されることのないよう、都市計画に沿った秩序ある土地基盤の利用を図って行きたいと考えております。

私は、クリーン選挙をモットーに「町民本位の行政」による「町民が主人公のまちづくり」をめざして、町政の刷新に力を注ぐことをお約束し選挙戦を戦いました。その結果、皆様の絶大なるご支持を賜り当選の栄に浴することができました。ここに改めて深く感謝を申し上げるとともに、今後とも皆様のご期待に添うべく、新しい八郷町の建て直しに渾身の

さらに財政基盤を充実させていくための企業誘致は、農業や商業の振興と共に今後の重要な課題であります。町外の職場に通う方が多いなかで、地元に働く場の確保が必要であり、そのための工業団地の計画を県関係機関と協議を進めています。そこであります。なお、これはあくまで自然との調和を優先し、企業を選択していくことは言うまでもありません。

福祉や教育の面では、高齢化に対応した在宅福祉サービスの向上はもとより、障害者にも目をむけた施策が必要であり、教育関係は、計画的に施設整備を図り、子どもたちが快適な環境のもとで教育が受けられるよう努めてまいります。

厳しい財政状況が続くなかで、無駄のない効率よい行財政の運営に努め、さらに町民の皆様との真剣な語り合いを通して、町にとって必要ある事業を見きわめ積極的に推進して行くことが大切であると考えます。

本年も町民一人ひとりが輝いて生きられるまちづくりのために、全力を傾注してゆく覚悟でありますので、皆様方の暖かいご支援ご協力を心よりお願い申し上げ、併せて皆様方のご健勝とご多幸を祈念し、年頭のごあいさつといたしま

迎春

一般・特別会計補正予算 7年度会計決算認定など審議

平成8年八郷町議会第4回定例会は、12月12日招集され20日までの9日間の日程で開かれました。

今回提出された案件は議案11件、認定5件の合わせて16件でしたが、

すべて原案通り可決承認されました。

〔条例改正議案〕

▽八郷町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき国家公務員の給与改定が行われたことに伴つた。

〔予算関係議案〕

▽財産の取得▽町道路線の認定・廃止・変更▽町営土地改良事業の施行について▽土地改良事業の事務の委託について

「その他の議案」

▽財産の取得▽町道路線の認定・廃止・変更▽町営土地改良事業の施行について▽土地改良事業の事務の委託について

利子の貸付けを行つものです。医療法人「新生会」の老人保健施設建設に貸付けをします。

農林水産業費では、花き生産の振興を図るための補助金2,205万7千円、

▽8年度一般会計補正予算(第5号)▽8年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)▽8年度農業別会計補正予算(第1号)

きの生産基盤確立事業補助金701万1千円などが補正増になりました。土木費の道路橋梁費は、一般町道の改良・舗装工事請負費、県の補助事業としてすすめる生活関連市町村道路緊急整備事業の根小屋地内町道7493号線、山崎石岡線の用地購入、物件補償費などを合わせて1,974万4千円が補正増になりました。

一般会計予算は 96億9,318万円に

▽伊藤昌次郎・○入江貞一・山田保・吉川勇・中村茂夫・鬼沢隆・岡崎勝巳・大場俊之

○鳴田佐登子・吉川勇・谷島博久・飯村嘉男・岡崎忠

〔議会運営委員会〕

議長に上田孝之氏
副議長に鈴木光雄氏を選出

12月20日の議会最終日に議長、副議長の改選があり、議長に上田孝之氏(69)、副議長に鈴木光雄氏(70)がそれぞれ選ばれました。

なお、常任委員会や一部事務組合議員の構成が次のように決まりました。(◎委員長・○副委員長)

〔一部事務組合〕

▽新治地方広域 上田孝之・入江貞一・鈴木米造・谷島博久

▽土浦石岡地方社教センター 伊藤昌次郎・岡崎忠・石岡地

▽総務委員会 ○入江貞一・中方農業共済 中村茂夫・鬼沢隆・

上田孝之・塚谷和幸 ▽産業土木委員会 ◎岡崎勝巳・村茂夫・島田重郎・伊藤昌次郎・

○鈴木米造・山田保・鈴木光雄・和幸・大場俊之・鳴田佐登子

鬼沢隆・川又紀征 ▽教育民生委員会 ◎大場俊之・

(敬称略)

下水道の終末処理場 用地取得を提案

財産取得は下水道事業に関する浄化センター用地の取得について議会の承認を求めました。

この土地は大字根小屋地内の山林41,318m²で買収価格は、1億6,527万2千円です。

審議の結果原案のとおり承認されました。

〔認定案件〕

九月に認定された水道事業会計を除く一般・特別合わせて5つの会計決算の認定について審議され、すべて承認を得ました。概要については次ページに掲載しました。



鈴木副議長



上田議長

▽総務委員会 ○入江貞一・中方農業共済 中村茂夫・鬼沢隆・

上田孝之・塚谷和幸 ▽産業土木委員会 ◎岡崎勝巳・村茂夫・島田重郎・伊藤昌次郎・

○鈴木米造・山田保・鈴木光雄・和幸・大場俊之・鳴田佐登子

鬼沢隆・川又紀征 ▽教育民生委員会 ◎大場俊之・

暮らせる町づくりの総決算

一般会計

歳入 110億6,808万円 岁出 104億7,380万円

平成7年度の一般会計決算額は、歳入総額は110億6,808万円(対前年度比2・3%増)、歳出総額は104億7,380万円(対前年度比6・7%増)となりました。このうち、繰越明許にともなう平成8年度へ繰り越すべき一般財質収支は、5億939万円になりました。

歳入全体は、前年度に比べ2億5,074万円の増となりました。内容としましては、全体に占める割合が最も大きかったのは行政需要に対して国から交付された地方交付税、37億5,914万円で34%を占め、前年度比3・2%の伸びとなりました。

統じて繰入金・繰越金・財産収入や分担金及び負担金などが合わせて23億1,026万円、20・9%でしたが、前年度に比べると金の繰入などが減りましたので13・6%の減になっています。

みなさんから納めていただきました町民税や固定資産税などの町税は20億7,871万円で全体の18・8%前年度比4・1%増でし

歳入の状況

平成8年度へ繰り越すべき一般財質収支は、5億939万円になりました。

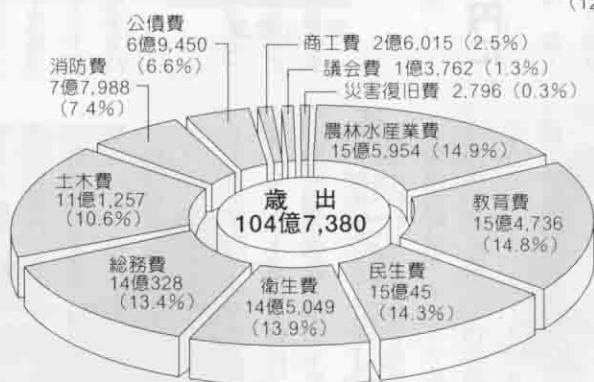
歳出の状況

町税を人口(8年3月31日現在30,895人)から単純計算した一人あたりの納稅額は約6万7千円になります。なお、監査委員の意見書のなかで、町税の徴収率の低下や貸付金元利収入の収入未済額の増が見られるので、帶納整理に努めるようにとの意見がありました。

一般会計決算の内訳

(単位: 万円)

■ 自主財源
■ 依存財源





平成7年度 決算報告 安心して

昨年12月12日から開かれた町議会定例会において、平成7年度の一般会計・特別会計それぞれの決算が認定されました。平成7年度は水道事業会計を含め148億3千万円あまりの総予算でスタートし、途中補正を行いながら各種の事業が進められました。決算の概要をお知らせします。

一般会計町民1人当たりに使われた金額（人口は平成8年3月31日の人口30,895人で計算）

歳出総額一人当たり
339,013円
歳入総額一人当たり
/自主財源
142,061円
依存財源
216,187円
計 358,248円

農林水産業費
50,479円



農林業の振興に

教育費
50,085円



生涯学習や
学校教育に

民生費
48,566円



福祉の向上に

衛生費
46,949円



健康づくりや
環境整備に

総務費
45,421円



一般事務に

土木費
36,011円



道路や排水の
整備に

消防費
25,243円



消防や防災に

公債費
22,479円



借入金の
支払いに

商工費
8,421円



商工業や
観光開発に

議会費
4,454円



町議会の運営に

その他
905円



災害復旧などに

特別会計 (万円)

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	21億3,309	19億8,736	1億4,573
老人保健	20億8,836	19億9,028	9,808
農業集落排水	7,729	7,413	316
フローリング汚水処理施設管理	1,457	1,280	176

水道事業企業会計 (万円)

	収入	支出	差引
収益的収支	6億4,992	5億6,219	8,773
資本的収支	5億1,300	5億6,215	△4,915

町債・企業債残高 (平成8年) (3月末現在)

一般会計	62億8,615万円
水道事業企業会計	37億2,766万円

町の会計には、一般会計のほか、国民健康保険、老人保健、フローリング汚水処理施設管理、農業集落排水事業の4つの特別会計と水道事業の企業会計があります。

平成7年度の水道事業会計の決算については、昨年9月の議会定例会で認定されましたが、ほかの特別会計は一般会計とともに12月の議会定例会で認定されました。それぞれの特別会計・企業会計の決算は左表のとおりです。

国民健康保険特別会計は歳入歳

出差引1億4,573万円の黒字になりましたが、国民健康保険税の徴収率が低下している点について向ふとめるよう監査における意見が付されました。

老人保健特別会計は、歳出の95%を医療諸費が占めていますが、歳出全体の前年度比で13・1%の伸びになりました。将来的に

健康づくりをすすめ医療費節減を図ることも重要な課題といえます。水道事業会計は、収益的収支で8,773万円の黒字になりました。これにより公営企業会計に移行以来累積していた欠損金を解消することができました。

7年度にすすめた主な事業

人々がいきいきと交流するまちづくり



国際化に対応した英語教育がすすめられています

安全で快適な環境のあるまちづくり

- フルーツとアザレアの道整備事業 フルーツライン17・5kmにドウダン、キリシマツツジを植栽 1,658万円
- 下水道整備基本計画策定事業 2,405万円
- 合併浄化槽設置事業 5人槽6基、6人槽17基、8人槽10人槽29基 計52基 5,362万円
- 湖北環境衛生組合負担金 8,843万円
- 新治広域事務組合負担金 1億86万円
- 水道事業会計繰出金 2億3,000万円
- 石岡地方畜場組合負担金 899万円
- 消防ポンプ車購入事業 消防ポンプ車5台

- 交通安全施設整備事業 カーブミラー80基、ガードレール100m、スクールゾーン6か所 1億8,347万円
- 生活関連市町村道路緊急整備事業 測量調査設計委託 1,741万円
- 一般町道整備事業 総延長1,949m 515万円

調和のとれた魅力あるまちづくり

- フルーツとアザレアの道整備事業 フルーツライン17・5kmにドウダン、キリシマツツジを植栽 1,658万円
- 下水道整備基本計画策定事業 2,405万円
- 合併浄化槽設置事業 5人槽6基、6人槽17基、8人槽10人槽29基 計52基 5,362万円
- 防火水槽設置事業 防火水槽新設 3基 1,188万円
- 防災行政無線整備事業 3億4,541万円
- コミュニティ防災資機材等整備事業 2億5,661万円
- 新治地方広域事務組合消防負担金 1,105万円
- 生活関連市町村道路緊急整備事業 測量調査設計委託 1億9,78万円
- 一般町道整備事業 総延長1,949m 515万円

- 園部小学校校舎増築事業 鉄筋コンクリート3階建 延床面積818m²、学校用地6,983m²取得 3億1,101万円
- 外国青年招致事業 英語教育推進のため 9,31万円
- 小学校学校管理事業 施設整備及び校具備品の購入 8,210万円
- 小学校教材備品購入事業 1,647万円
- 中学校学校管理事業 施設整備及び校具備品の購入 4,733万円
- 中学校教育振興事業 1,488万円
- 生涯学習推進事業 456万円
- 社会教育活動総合事業 247万円
- 文化財保護顕彰事業 善光寺楼門、佐久良東雄田毛修理ほか指定文化財保護顕彰 460万円
- 小幡地区公民館改修事業 外部鉄骨塗装・内部塗装・給水、消防設備改修工事 201回配食、1日3,900食
- 学校給食施設管理事業 小・中学校給食事等 1億4,30万円
- プール施設整備事業 ウォータースライド、特殊スライダー設置・管理棟改修工事等 1億9,167万円
- 給食配達委託事業 配送車3台 1,105万円
- 給食用備品購入事業 218万円

- 地区公民館活動推進事業 1,18万円
- スポーツ教室・大会事業 342万円
- 朝日小学校屋内運動場建設事業 用地取得得4,704m² 付帯道路改良工事 L=77・6m W=5m 670万円
- 公民館講座開設事業 1,18万円
- パーク施設整備事業 ウォータースライド、特殊スライダー設置・管理棟改修工事等 1億4,30万円
- 給食配達委託事業 配送車3台 1,105万円
- 給食用備品購入事業 218万円

生涯を健やかに過ごせるまちづくり



健康づくりの拠点となる保健センターが完成



特老への委託事業による介護支援

心のふれあいと思いやりのあるまちづくり

- 社会福祉協議会事務委託事業 家庭奉仕 員派遣事業、移動入浴、福祉団体の事務局等事務委託 963人、健康教育96回 3,455人
- 敬老会助成事業 3,887人対象の敬老会に補助、80歳以上の1,236人に敬老祝金と記念品贈呈 1億3,200万円
- 老人保護措置事業 64名の老人が老人ホームに入所 1億3,200万円
- デイサービスセンター・介護支援センターバー建設補助事業 1,500万円
- デイサービスセンター・介護支援センターバー運営委託事業 2,728万円
- 身体障害者援護費 16名が施設に入所し、機能回復訓練、生活指導を行う 5,378万円

豊力で活力に満ちたまちづくり

- 老人保健事業 健康審査受診者延べ1,203人、健康教育96回 3,455人
- 健康相談136回 6,320人、訪問指導延べ821件 3,272万円
- 健康づくり推進事業 3,272万円
- 母子保健事業 3,58万円
- 予防接種事業 1,920万円
- 保健センター建設事業 鉄筋コンクリート一部鉄骨2階建 延床面積 1,761m²及び備品購入 7億1,110万円
- 国保特別会計繰出金 7,493万円
- 国保基盤安定繰出金 1,814万円
- 水田農業大規模経営体育成モデル事業 農地集積活動・機械施設整備補助 1,037万円
- 霞ヶ浦流域農業特別対策事業 啓発活動・施肥田植機導入補助10台 148万円
- 畜産再編総合対策事業 特定地域畜産環境緊急整備事業補助 8,925万円
- 県単農道整備事業 農道改良舗装4路線 5,162万円
- 霞ヶ浦用水推進事業 5,338万円
- 県営ふるさと農道緊急整備事業 八郷・石岡地区に係る町負担金（八郷町内は用地買収・立木償償等） 4,741万円
- 県単排水路整備事業 2,550万円
- 条件整備特別対策事業 農道舗装L=20m 1m、舗装L=460m、整備L=2,428m
- フラワーパーク管理運営事業 花き総合指導事業 1億6,473万円
- 豊かなむらづくり事業 通学路改良工事 L=100m、ふれあいの森植栽、高齢者セントラル空調工事 5,317万円
- 園芸いばらき振興推進事業 野菜グレードアップ整備事業補助 1,543万円
- 林業山村活性化林業構造改善事業 林道開設L=460m 2,582万円
- 林道開設・整備舗装事業 開設L=20m、舗装L=260m、整備L=2,428m
- 商工振興事業 1,754万円
- 国民宿舎委託事業 8,289万円
- ふれあいの森委託事業 3,178万円
- 「広報やさと」「広報やさとお知らせ版」発行事業 6,84万円
- 対話教室・モニター等公聴事業 3,8万円
- 固定資産税標準地鑑定事業 908万円
- 固定資産税現況調査事業 土地現況図、地目現況図、家屋現況図、家屋一棟調査業務を継続事業で実施 6,558万円
- 旧厅舍解体事業 2,918万円
- 公有財産購入費 役場駐車場用地購入 2,408万円
- 厅舍周辺改修工事 擁壁石張L=86m 出入口改修L=33m 1億2,04万円

出前懇談会などで熱心な対話が行われました

対話と参加による効率的な行財政運営



怒つても冷静、先生はすごいよ



桜井 千恵子先生

今月は吉生小学校三年生担任の
桜井千恵子先生を訪ねました。

中、父母の奉仕でつくられた「吉生の森」で元気に遊び学ぶ子どもたちに先生は、「遊ぶときはのびのび遊び、やるときはやるといけじめを大切にして、思いやり、温かい心をもった子になってほしい」と話していました。

筑波山を望む素晴らしい環境の中、子どもたちへのインタビューを紹介します。

Q 先生のいいなというところや

A 怒ったときも冷静、落ち着いてお話しをしてくれます。

Q 先生が怒つたり厳しく言われることは?

A 授業中に勝手に席を離れたりすると叱られます。気持ちを合わせて行動できるようにということ。

Q 先生の失敗談は?

また、「今年開かれたオペラ教室や交通安全教室などはよい体験の場となりましたので町のほうでこうしたものを今後も続けていた

地元八郷町上曾に住まいの先生は、吉生小学校に勤務して六年、目下のところ仕事と子育ての両立に奮闘しています。

夢多かつた小学生のころ桜井先生は放送係をしていた関係で「アナウンサー」になりたいと考えていましたが、高校のとき、出会った先生に影響を受け教師の道を選

A 時々連絡帳の字を間違えています。大きいものでは行事の予定を間違えたこともあります。

Q クラスの目標やみんなで守っていることは?

A なかよし十八人の元気にはんばる生活目標の歌があるので、毎日歌つて目標を確認しています。

Q 先生にお願いしたいことは?

A 卒業するまで担任でいることを希望です。

いま子育てに追われる桜井先生が自分の時間がない中での唯一の楽しみは、「雑誌に載っているおもしろい料理などを見つけ、いそそいと材料を買い込んでつくつたりすること」と結局家事



吉生小学校3年生のみなさん

よりよい地域づくりに 協議会を開く



地域のリーダーとして活躍されている柿岡地区区長会(大枝恒雄会長)と柿岡地区婦人会(橋本きい会長)の役員の皆さんが、さる十一月十三日合同協議会を開きました。この協議会は自主的な活動として昨年に続き二回目となるもので、地域の問題や行政に望むことなどを語り合い交流を深めながら、地域の活性化につなげる目的がありました。

今回の話題は、ごみの問題、生活改善、地域の活性化など難しい問題もありましたが、積極的に意見が出されました。ごみ分別収集では、町生活環境課長

は連絡しておけばできますので、

たいへんなことを実際に見ておこうことも必要」というお話を、「きちんと分けていないコンテナには注意するシールを貼つたら」という意見もありました。

また「処理場で分ける作業が何か機会がありましたら生活環境課へ連絡して下さい」と話していました。

また、講師として出席した町教育委員の鈴木重喜さんから「皆さんのがうした活動は地域づくりの大きな力になるはず。

そして町行政にもつねに近い距離から目を向けて

いることも、お互いを理解するうえで大事」というお話をありました。

の説明の後、地域の現状や考え

方などに意見がありました。

「ためてしまふと別々にし

ておく習慣をつけることが大事」

という意見や集積場利用では、

「収集日に出すことは原則」、

「きちんと分けていないコンテ

ナ」には注意するシールを貼つ

たら」という意見もありました。

また「処理場で分ける作業が

たいへんなことを実際に見てお

こうしたことでも必要」というお話を、「きちんと分けていないコンテ

ナ」には注意するシールを貼つ

差別のない社会をめざして (2)

部落はなぜつくられたか

部落の成立

(城下町と皮屋町)

部落のできる以前の、今からさかのほる四百年から五百年前の百

年間は、日本の歴史の上で、戦国

時代とよばれていたころ、戦国大名は、皮革業者を特に保護をする

とともに、他国に逃げないように居住地を決め、他の仕事に移ることを禁じ、一手に武具を手に入れようとしたのです。ところが天下統一がすすみ、武具があまり必要でなくなつてくると、皮革の仕事がだんだん減つてきました。そこで戦国大名たちは、特に保護して

きたこの人たちに、城下町の見回りや、城下町へ入つてくる人々を見張る仕事をさせたのです。そのため、いつも出入口にあたる所に住まわされました。犯罪人を捕まることや、牢屋の番をすることとなりました。

(宿場町と長吏屋敷)

皮屋町と並んでもう一つ、江戸時代の前期にできたものに「長吏屋敷」があります。長吏とは、中

日本では、県や市町村の役人の頭で、士と、「土農工商」といふ

た役人の名前でした。この長吏屋敷に住む長吏と呼ばれた人々の出身や任務は、城下町の皮屋町の人々と同じでした。宿場に出入りする人々を見張ったり、犯罪人を捕まえたりすることで、ふだんは皮革の仕事をしていました。

こうして、もとは皮革業者であった人々が、幕府や大名の政策により、城下町や宿場町の一定の場所に住まわされるようになります。農村に残った皮革業者も、城下の頭の命令に従い、皮革の仕事をするほか、城下の見回り、犯罪人の逮捕に動員されるようになります。

幕府政治と部落

(分裂支配のしくみと部落)

中でも、大変だったのは、重い年貢を課せられた農民と、それ以上にむごい目にあつたのは皮革業の人々です。江戸幕府のできる前は、大工、鍛冶屋と同じく、立派な職業でしたが、武士にとつてあまり

それでも、人々がなぜ「えた」「穢多」などと書かれ、人々に軽蔑した呼び方でよばれ、差別されるようになつたのでしょうか。それは幕府や大名の支配政策の犠牲にされたからです。

江戸時代に少數の武士階級が、多くの民衆を支配できたのは、武

士と、「土農工商」といふことです。(県同和教育資料より)



花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

園芸教室

春の訪れを

告げるパンジー



早春の庭を明るく飾るパンジーの花、それは春の訪れを初めて告げる、草花の第一番めの使者です。

パンジーはヨーロッパの原野に野生していたスミレから改良されたため、十分な陽光と涼爽な気候を好む一年草です。早咲きのものでは、晚秋のころから翌年の初夏のころまで、絶え間なく咲きます。

パンジーの品種育成には五つの野生種が交配されたため、花色がきわめて豊富です。長い間咲き続ける性質を生かして、春花壇のよき彩りとして必須の材料になります。

パンジーの栽培には五つに開花している株を植えるときは、三月上旬が適期です。

パンジーの病害虫の被害は比較的少ないが、春にアブラムシが発生しやすいので、移植時に浸透移行性粒剤を施すとよいでしょう。灰色かび病が発生する

と花が変形してしまって、ペントレートを散布して予防します。

茨城県フラワーパーク

園芸課 檜山

八郷の住まい探訪

(一)

—風土と歴史—

朝日かけ 豊さかのほる

ひのもとの やまとの国

春のあけぼの（東雄）

八郷町は、茨城県のはば中央に位置し、筑波・足尾・加波・吾国・難台・愛宕の美しい連峰に囲まれた盆地です。東方にはかつての常陸國府が接していたという歴史を持ち、温暖な気候に恵まれて豊かな農林業を営んできました。

きれいな水と空気、柿や梨などのおいしい果物。これほどにすぐれた住環境は他にないでしよう。

「住みたい町」のアンケートを町外の人にしてみれば恐らくは、当町が一番になるに違ひありません。この風土と歴史の中で、どのような住まいを建ててきたのでしょう。

かつてある大工さんに聞いたことがあります。「八郷の奥さんはこわい。木の使い方を良く知っています。木を知っている土地柄なので、あの大工は間違った使い方をしていると、言われてしまった。成る程な」と私も思います。女性が木を知っている土地柄なのであります。また、ある人が言うには、「良い住まいを建てるには、三つのキ

致すること、特に奥さんと嫁さんの気が合うこと。一番目には、山に木があること。三番目は、金のなる木があること」だそうです。

イギリスの名宰相とうたわれた、チャーチル氏は言いました。「人が家を作り、人が人を作らせる」名言ですね。そして、初代が木を植え、二代目が金を作り、三代目が家を建てる。

先人達はこのような気構えで、住まいを作ってきたのです。

天保の大飢饉の時には、豊かな当地では餓死者は出なかつたもの、やはり農村は疲弊しました。

二宮尊徳先生の農村復興の指導法は「尊徳仕法」と言います。当町内の旧加生野村もその仕法が行われました。これ程にすぐれた農政家の指導を受けた、という歴史を大いに大切にしたいものです。

東の清水寺、とも称される西光院の向こうには、かつての常陸國府、そして更に遙かには太平洋。そこにはまさに初日の出が拝めます。

東雄先生のこの歌は、間違いなくここからの情景を詠じたものと私は思われるのです。このお堂は先生の生まれる丁度三十年前の、寛政三年（一七九一）の建立です。

天保の大飢饉の最中には、土浦茅葺きでした。先生は荒廃した農村を建て直すためには、村民が協力して茅を刈り、屋根葺請も一緒にやるという「結」の心こそ重要な住まいを建てるには、三つのキ



西光院の舞台からみた八郷盆地

●最近気になる病気について

豊後荘病院

精神科 勝 久寿医師



精神分裂病は、一〇〇人中一人弱が、一生のうちにこれに罹るとされており、決してめずらしい病気ではありません。しかし、この病気についての適切な情報が不足しているため、いまだに多くの人が、この病気は不治の病であり、これに罹ると生涯入院していかなければならぬ、と誤解しているように思われます。

さて、冒頭のことです。関東の清水寺、とも称される西光院の向こうには、かつての常陸國府、そして更に遙かには太平洋。そこにはまさに初日の出が拝めます。

東雄先生のこの歌は、間違いなくここからの情景を詠じたものと私は思われるのです。このお堂は先生の生まれる丁度三十年前の、寛政三年（一七九一）の建立です。

天保の大飢饉の最中には、土浦茅葺きでした。先生は荒廃した農村を建て直すためには、村民が協力して茅を刈り、屋根葺請も一緒にやるという「結」の心こそ重要な住まいを建てるには、三つのキ

があります。

この病気の原因については徐々に解明しつつあり、現在では精神分裂病の患者さんは、発症前から脆弱性（素因）つまりストレスに対する弱さがあり、対処能力を越えたストレスを受けると、生物学的機転により、病気が発症あるいは再発すると考えられています。このように聞えられています。このように聞くと、精神力が弱いのだからビシビシ鍛えなければ、と考える家族の方がいますが、このようなストレスは、かえって病気を悪化させます。

これらの治療法をうまく組み合わせて行うことによって、この病気が不治の病ではなくなり、多くの患者さんが社会復帰可能となります。ただし、効果的な治療を行ふためには早期受診、そして社会の理解と協力が必要となります。

町文化財保護審議会委員 一色史彦

精神分裂病は、一〇〇人中一人弱が、一生のうちにこれに罹るとされており、決してめずらしい病気ではありません。しかし、この病気についての適切な情報が不足しているため、いまだに多くの人が、この病気は不治の病であり、これに罹ると生涯入院していかなければならぬ、と誤解しているように思われます。

さて、冒頭のことです。関

精神分裂病は、一〇〇人中一人弱が、一生のうちにこれに罹るとされており、決してめずらしい病気ではありません。しかし、この病気についての適切な情報が不足しているため、いまだに多くの人が、この病気は不治の病であり、これに罹ると生涯入院していかなければならぬ、と誤解しているように思われます。

精神分裂病は、一〇〇人中

うなぎの柳川風

わたしの手料理



食生活改善推進員 塚田隆子（小屋）

【材料】(4~5人分)

うなぎ（味付）200g ごぼう 100g 三つ葉
50g だし汁 100cc 卵 2個 調味料A（みり
ん大4 酒大2 しょうゆ大3 砂糖大1）

【作り方】

①うなぎは5mm幅に切る。ごぼうは皮を包丁の背でこそぎ、ささがきにし、酢水に入れてアツキを抜き、水を切る。三つ葉は3cmのざく切りにする。

②平鍋にごぼうとだし汁を入れ、2~3分煮て調味料Aとうなぎを加え、熱くなつたところでとき卵をまわしかけ、上に三つ葉をちらし、半熟で火を止める。

（ごはんの上にのせて丼にしてもおいしいです）

わが家のアイドル

小松崎 昂法ちゃん

なかのり

父 晴美さん 母 まゆみさん
平成5年9月3日生まれ

家族からの一言



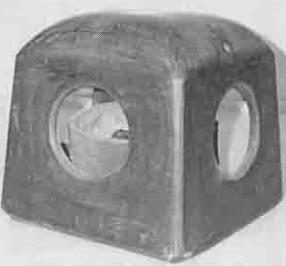
活発すぎるくらい活発で、いつも元気に動き回っています。また、ブルドーザーなどの建設機械や車が大好き。家にあるフォーラクリフトに乗せてもらうとご機嫌です。

元気で素直な子に育ってほしいです。

八郷の民俗資料

⑩

農村資料館



行火

日本の家屋は一般的に夏向きの構造で仕上がっているため、暖房設備、用具は発達せず、主として、土間や板の間などで恒久的に薪を焼く設備の「圍炉裏」の火に頼る生活であった。その圍炉裏から派生したのが火鉢や行火・炬燵などである。

火鉢は平安時代の頃から「火桶」「火櫃」などと呼ばれ、火は圍炉裏の「おき」を用いていたらしい。当初の構造は、白木の曲物に粘土を貼りめぐらした粗末なもので、

暖房効果も低く、手をかざす以外に、足の採暖を行つたらしい。やがて木炭が採用されるようになると、それまでの粗末な作りから、桧・杉・松などの樹木を適当な長さに切断して中を抉り、仕上げたものが用いられるようになる。やがて江戸時代に入る

と、箱状を呈し、飾り金具が施された華美な火鉢が登場してくるが、とくに寛政期の

頃からは長火鉢が広く普及するようになる。

行火や炬燵が一般に普及するようになるのは、围炉裏での暖よりも利便性が高いことに起因する。

行火は、古く中国の漢の時代に考案されたと伝えられ、持ち運びができる暖房具である。行は、行燈の行と同意語であつて、これを日本に伝えたのは、室町時代に渡米した禪宗の僧侶といわれる。当初の形態や材質などは定かでないが、江戸時代に用いられたものは箱状の木製で、前部は開かれ、他の三面は板張りであった。明治・大正時代になると、黒く焼成された土製品が主体となり、底の中央に置く舟型状の土製容器と、「おき」「たどん」「炭火」などを入れ、全体を薄い蒲団で覆い暖をとつた。現在では殆ど使われず、同じ目的をもつ炬燵

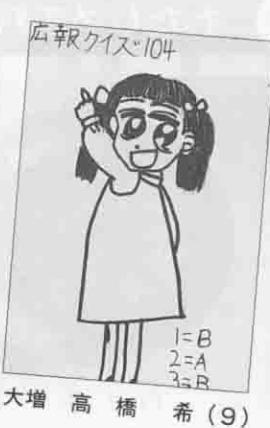
と混同して理解される向きもある。

現在では、家電製品万能の時代を迎えており、ここに改めて、電気炬燵の効能をあれこれ触れる必要もあるまい。私自身、いま、眠りに耽る三匹の猫とともに電気炬燵のぬくもりの中で、広報原稿の整理作業をすすめている次第である。

八郷町文化財保護審議会委員 西宮一男



真家 藤崎早苗 (10)



大増 高橋 希 (9)



水菜月 希 新



大塚 谷田部真弓 (8)



きつね

評 日本教育書道連盟審査員 岩波芳水

習字コーナー

小桜小一年 関竜徳

ゆうき
うきのり

小幡小二年 桜井麻未

かも
めくらひあみ

男の子らしく大きく元気よく書いてとても良いです。名前をまつすぐに書けばもつと良かったです。

ついにしつかりとした筆使いで、伸び伸びと良く書けています。

私 ひとこと

毎回、クイズの応募者が三千名くらいですが、プレゼントの賞品を図書券やテレカ等、ときどき変えてみたらどうでしょうか。応募する側にとっては、楽しみがあり、もっと、応募者が増えるような気がします。

大増 大沼宏子(40)

◆ 広報クイズは昭和六十三年の四月号から始まり、現在まで続いている。始まつて二、三年は、テレフォンカードをプレゼントしていました。しかし、それ以後はずつとフリーパークの入園券でしたので、ちがう品物に変えて尚、

始まつて二、三年は、テレフォンカードをプレゼントしていました。しかし、それ以後はずつとフリーパークの入

園券でしたので、ちがう品物に変えて尚、

いいかと思います。検討した結果

さつそく今月号のクイズから、図書券・テレフォンカード・入園券と乗り物券を毎月、交互にプレゼントすることにしました。一月号の広報クイズのプレゼントは図書券です。皆さん、これからも広報クイズにどしどしご応募ください。

◆ 広報

報と一緒に種々な書類が届いたが、役所は放漫の最たる所と改めて感した。莫大な債務を抱えて尚、無駄を平然と繰り返している。リスト

ラに血眼になつてゐる民間企業を見習え。これは外側に現れた部分だけ、内

部には更に改善すべきものがある。青少年問題協議会、

教育委員会のカレンダーは、各戸配

合せよ。この投書を広報に載せ町民の反応を調査して結果を公表することを要望する。

匿名

◆ このようなお手紙が広報係に届き、職員もいろいろと考へさせられました。皆さんのご意見もお聞きしたいので、この件に関してお便りくださるようお願いします。

広報係

全問正解者の中から
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 106

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①平成7年度一般会計歳入決算額
は?

- (A) 100億6,808万円
- (B) 110億6,808万円
- (C) 120億6,808万円

②平成7年度一般会計歳出決算額
は?

- (A) 103億7,380万円
- (B) 104億7,380万円
- (C) 105億7,380万円

③平成7年度決算で町民一人あたりに使われた額は?

- (A) 339,013円 (B) 439,013円
- (C) 539,013円

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ106と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏名、年齢、世帯主と「私もひとこと」へのご意見や広報の感想などを書いて送ってください。イラストやマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図書券をプレゼントします。

☆締切日 平成9年2月20日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙3月号

【広報クイズ104の当選者の発表】

正解は1-B、2-A、3-Bでした。
応募総数32通、正解30通の中から
次の10人が当選しました。

小原とく(片野) 富田静(下青柳)
飯村純子(山崎) 氏家覓(下林)
甲京子(小幡) 上林里絵(柴内)
入江勇(大増) 滝内きよ(根小屋)
谷田部美果(大塚) 木村きよみ(東
成井) [敬称略]



●やさと文芸

菩提寺の建設委員会年今
菩提寺の募金ほぼ成り年明くる
菩提寺の上棟予定初曆

俳

詠

鈴

木

弦

月

句

紳

引

鼓

峰

短

歌

吉

田

次

郎

あけましておめでとうございます。今日は選
者の皆さん的作品を紹介します。
来月からまた、皆さん的作品を掲載しますので
ふるつて応募ください。お待ちしています。



やさとメモリー

まちの話題でできこと

身近な出来事や地元の話題をおよせください
（連絡先・秘書広聴課内線一三四三）

ときめき
ティータイム

日本赤十字社より救援車が贈呈



救援車（写真）が十二月二十日、日本赤十字社茨城県支部より八郷町分区に贈呈されました。

救援車は万一の災害時に、救援物資の搬送等に使うための車両です。また、皆さんよりいたしている社費（会費）の

還元も兼ねていますので、日常活動のなかで地域福祉のために使用していく予定です。

なお、火災時の家庭には赤十字社より、救援物資として日用品が配布されています。



地元のご飯でおいしい給食

町主催の少年スキー教室が一月五日から七日まで、福島県のあだたら高原スキー場で開催されました。

同スキー教室には、小学四年生から中学生の男女六十七人が参加し、九クラス

に別れて、八郷スキークラブ指導員のコ

一チを受けました。

最初、おそるおそる滑っていた子どもたちも、スイスイ滑れるようになる上達ぶりで、寒さも忘れて、スキーを楽しみました。

寒さを忘れてスキーを楽しむ

町内の各小中学校で十二月二十四日、八郷産のコシヒカリを使つたご飯の給食が用意されました。

これは米消費拡大キャンペーンの一環として、ご飯のおいしさを再認識してもうため行われているものです。小中学

校のほか、各保育所の給食にも使用され、子どもたちの評判も上々です。

当日の献立はごはんにみそ汁、魚の揚げ煮、ほうれん草のピーナツあえ、梅干し、牛乳で、子どもたちはおいしい給食に舌鼓を打っていました。



瓦会小学校

ありがとうございます

○町社会福祉協議会へバザーの収益金十万円

婦人会

菊地紀美子（須釜・21歳）さん
趣味は小学生のころから始めた編み物。今は看護婦試験合格をめざして勉強中です。



ふれあいフォーラムで子どもたちに夢を



アニマル浜口さんの講演

「夢をつかもう!」をキヤッチフレーズにした親子ふれあいフォーラムが十二月二十一日、八郷南中学校の体育館で開催されました。これは、桜バレーボール少年団と南中ふれあいフォーラム実行委員会が主催し、プロレスラーのアニマル浜口親子を講師に迎え行われたものです。

歓迎セレモニーの後、「夢—ぼくたちはこう考える」をテーマにパネル・ディスカッションが行われました。パネラー

は小学六年から高校一年までの男女六人で、全日本女子アマチュアレスリングチャンピオンの浜口京子さんが加わり、それぞれの夢について語り合いました。そして、アニマル浜口さんの講演「少年よ夢をつかめ」では、苦労した幼年時代のこと、それでも両親に感謝し、困難に立ち向かっていったことなどが語られました。エネルギーッシュな浜口さんに会場の皆さんも盛んな拍手を送っていました。

間伐講習会におよそ百人が参加

一般的住民を対象とした間伐(枝打ち)技術講習会が十二月十日、上青柳地内の山林で開催されました。

最近、林業の労働者不足は深刻で、樹木がよく育つために必要な間伐や枝打ちが十分に行えず、山林は荒れる一方だとか。そのため、県南地方総合事務所などが主催し、町内で同講習会を開催してき

ました。今回で三回目となります。

当日はおよそ百人が参加し、参加者は間伐の選木法や手順、枝打ちの方法などの説明を受け、伐採、造材、搬出を実習しました。また、便利な自動枝打ち機や搬出機械の実習も行われ、皆さん興味深く説明を聞いていました。

私ごとではありますまが「日記帳三日で終わるはずかしさ」とはよく言つたもの、毎年元旦には意気込んで「今年は日記でもつけるぞ」と殊勝な決意をするのはあります。こと細かく書いてあるのは三日だけ、おそらく皆さんはそんなことはないでしょうが……。

今年元旦、せめて仕事は「有言実行」でと決意を新たにしたところであります。(信じてください)そんなわけで、今年も広報「やさと」内容充実に努めますのでご愛読のほどよろしくお願ひします。

特別養護老人ホーム「やさと」で一月九日に新年会が行われ、芦穂保育所の子どもたちがお遊戯や舞踏を披露しました。子どもたちはそれぞれ衣装を身に付け、音楽に合わせて一生懸命踊りました。かわいい踊りに盛んな拍手

わいい踊りに、会場からは盛んな拍手が送られました。

また、子どもたちからお年寄りに手作りのプレゼントが渡され、なごやかな楽しい新年会となりました。



公認スポーツ指導者表彰

柿岡の山中和夫さんが十二月二十一日、財日本体育協会から、永年にわたる公認スポーツ指導者として表彰されました。山中さんは町職員(現、恋瀬保育所長)として勤務するかたわら、地域のスポーツの普及振興のために貢献し、その功績が認められたものです。



取り戻そう 清らかな水

霞ヶ浦は、社会経済の発展に伴い富栄養化が進み、水質悪化が問題となっています。このため、町では県とともにあらゆる面で浄化のための取り組みを実施しています。農業者の皆さんも、農業面からの霞ヶ浦浄化が一層推進されるよう積極的な努力をお願いします。



町では浄化効果の高い施肥田植機を使っての田植えを進めています

霞ヶ浦は古くから、大自然の営みの中で調和を保ち、人々に限りない恵みを与えてきました。

しかし近年、流域における人口増加などに伴い、富栄養化が進み水質悪化が問題となっています。

そこで、県をはじめ周辺市町村の住民が一丸となって、水質浄化に取り組んできました。その結果、霞ヶ浦の水質は、ピーク時に比べ着実に改善されました。ここ数年再び悪化の傾向を示しています。

八郷町は、この霞ヶ浦にそそぐ恋瀬川と園部川の上流にあたり、あらゆる方面からの水質浄化に取り組み、より一層の浄化対策を推進する必要があります。

一方、農業における過剰な施肥や農薬の多用は、水質汚濁の原因の一つともなっています。そこで今回、農業面からの浄化対策を取り上げましたので、皆さんの積極的なご協力をお願いします。

(一) 水田・レンコン田の管理
①土壤分析診断を行い、適切な肥料分析診断を行い、適切な施肥田植機導入促進

肥料等緩効性肥料を使用する。
④代かきのためのかん水はできるだけ少なくし、施肥直後は落水しない等の適切な水管理を行う。
⑤畦畔の保全を図り、水の使い過ぎを防止する。

(二) 烟・樹園地の管理

①土壤分析診断を行い、適切な施肥及び土壤管理を行う。
②良質な堆きゅう肥の土壤改良資材を用い、深耕・イネ化作物との輪作を中心とした健康な土作りを行つ。

また、浄化効果の高い側条施肥田植機の導入を進めるため、次の

施肥及び土壤管理を行つ。

②施肥は、肥料成

分の流出にくい側条施肥等の局所施肥や全層施肥等にする。

③肥料は、溶出抑制効果の高い被覆肥

料等緩効性肥料を使用する。

④助成対象

農協及び當農集團

②助成対象田植機

乗用であつ

て五条以上の施肥田植機及びハ

ロー施肥田植機（＝代かき・田

植え・施肥を一台で行う機械）

③助成金額

本体の中占める

施肥部分取付費の50%以内

五条施肥田植機十五万円

六条以上施肥田植機十八万円

ハロー施肥田植機二十万円以

内

④その他

改良資金、近代化資

金等との併用も可。転作達成者

に限り該当します。

詳しくは、役場農政課までお問い合わせください。



霞ヶ浦にそそぐ恋瀬川（昨年春）